

胃がん検診にABC分類を取り入れ、検診を効率的に！

# ABC検診で 胃の健康度チェック！！

～ハイリスク群、ローリスク群を効率的に検診しましょう～

*Helicobacter pylori* (*H. pylori*) 感染および血清ペプシノゲン (PG) 法陽性が胃がんの発生に深く関わっていることが分かってきました。このことからPG法と*H. pylori*抗体価 (精度良好な日本人株使用キット) を同時に測定し、3群に分類 (ABC分類) して進める検診法が推奨されています。

## ABC検診



### ○フローチャート



### 内視鏡受診間隔

A群：5年に1回

B群：2～3年に1回

C・D群：1年に1回

### ※ABC検診上の注意

*H. pylori* 除菌後、A群となった受診者はA'群とし、A群と明確に区別し、経過観察をすること

### ○PG法と*H. pylori*抗体価によるABC分類

ABC分類		HP抗体価	
		(-)	(+)
PG法	(-)	A	B
	(+)	D	C

※ABCまたはC1、C2を合わせてABCと分類している文献もある。

A群：PG法(-)、Hp抗体価(-)      C群：PG法(+)、Hp抗体価(+)

B群：PG法(-)、Hp抗体価(+)      D群：PG法(+)、Hp抗体価(-)

**A群：健康な胃粘膜**  
胃疾患の可能性低い

**B群：消化性潰瘍に留意**  
少数ながら胃がんの可能性も

**C・D群：胃疾患の高危険群**  
定期的な内視鏡検査を

ご予約が必要です。

検査費用：5500円 (税込)

ご予約  
お問合せ先

TEL.024-557-5127

福島第一病院 健康管理プラザ

